

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート次号は2021年5月10日を予定しています。

りそな外為レポート

ゴールデンウィーク期間中は円高ドル安なのか？

(P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 武富 龍太

今週のドル円予想レンジ **107.00 ~ 108.70**

りそなWEEKLY COLUMN

読者への挑戦 X III

～ 東風吹かば にほひおこせよ 梅の花 ～

(P3)

関西みらいフィナンシャルグループ
ストラテジスト 石田 武

- 読者への挑戦 X III
- 東風吹かば にほひおこせよ 梅の花
- 日本三大怨霊と金融市場の繋がり
- 解決編

2021/4/26

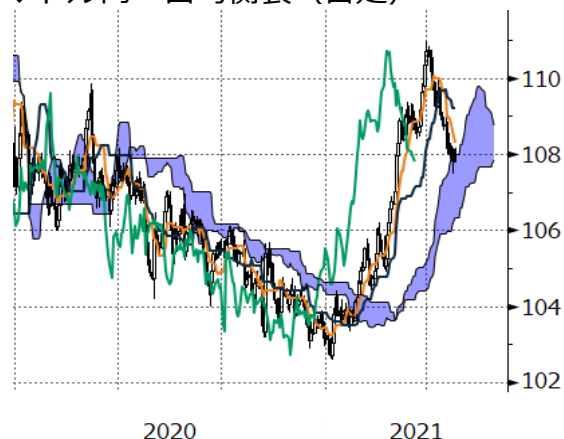
りそな外為レポート

ゴールデンウィーク期間中は円高ドル安なのか？

今週のドル円予想レンジ **107.00 ~ 108.70**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

今週末からGWがスタートする。日本の大型連休中は、円高ドル安になる印象が強いが本当なのだろうか。ふと気になり、2000年以降のGW21回（昭和の日～こどもの日：振替休日を含む）を調べてみた。

GW前日終値とGW最終日終値を比較すると、円高ドル安が13回（確率68%）、円安ドル高が8回（確率32%）とイメージ通り円高が優勢であった。

では、値幅はどうだろうか。GW期間中のドル円平均値幅（高値－安値）は2円48銭。GW前日終値を基準とすると、円安ドル高へ平均1円15銭推移する一方、円高ドル安へ平均1円33銭推移することが分かった。

ちなみに、足許のボラティリティを基に計算した1週間の1σ（プラスマイナス標準偏差）は、値幅1円70銭程度。円安円高ともに85銭といったところ。

上記数字をりそなグループでの為替ヘッジ取引・リープオーダーの参考にして頂けると幸いです。

(カスタマーディーラー 武富龍太)

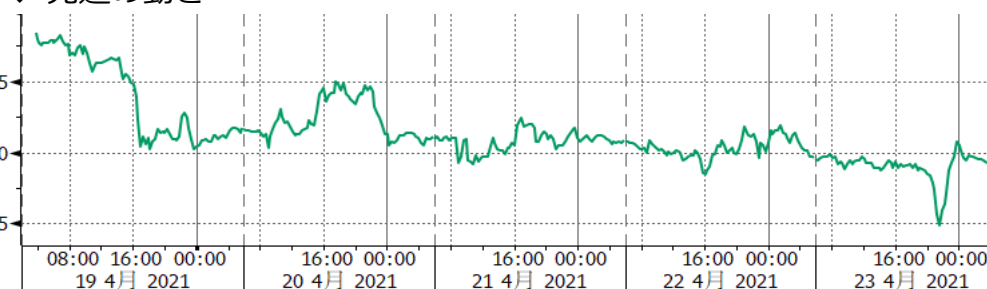
◆ 今週の日程

4/27 (火) 日 日銀金融政策決定会合	4/30 (金) 中 4月PMI
4/27 (火) 米 4月消費者信頼感指数	5/3 (月) 米 4月ISM製造業
4/28 (水) 米 FOMC (結果発表)	5/5 (水) 米 4月ISM非製造業
4/29 (木) 米 21/1Q GDP速報	5/6 (木) 英 BOE金融政策委員会
4/30 (金) 日 3月鉱工業生産	5/7 (金) 米 4月雇用統計

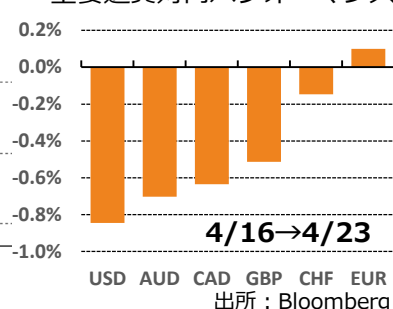
◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 4月23日(金) 107.88円 VS 5月7日(金)

東京							大阪(りそな)			埼玉			大阪(関西みらい)					神戸									
井口	中根	石川	湊	小新	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	小林	津田	石井	佐藤	内田	荻窪	藤森	三好	石田	尾股	中野	荻谷	辻村	山木	下川
↓	↑	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	休	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓

◆ 先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/4/26

りそな WEEKLY COLUMN

読者への挑戦ⅩⅢ

～ 東風吹かば にほひおこせよ 梅の花 ～

- 読者への挑戦ⅩⅢ
- 東風吹かば にほひおこせよ 梅の花
- 日本三大怨霊と金融市場の繋がり
- 解決編

関西みらいフィナンシャルグループ
ストラテジスト 石田 武

➤ 読者への挑戦ⅩⅢ

【読者への挑戦ⅩⅢ】

菅原道真、平将門、崇徳上皇の3人（いずれも実在の人物）は、日本三大怨霊と呼ばれていますが、この3人が怨霊となるきっかけとなった事件の名称を次のなかから選び、発生したのが早い順番に並べてください。

1. 昌泰の変 2. 承平・天慶の乱 3. 保元の乱 4. 平治の乱
5. 治承・寿永の乱 6. 前九年・後三年の役 7. 文禄・慶長の役

➤ 東風吹かば・・・

4月に入り、徐々に暖かい日が増えてきました。この文章を執筆している4月5日時点では、近所の桜も満開をやや過ぎたあたりとなっていて、いよいよ本格的な春到来といった風情です。この時期に東から吹いてくる暖かい風は「東風（こち）」と呼ぶそうです。この言葉は春の季語にもなっていますが、東風を使った和歌と言えばこちらの一首を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

東風吹かば にほひおこせよ 梅の花
主なしとて 春を忘るな

拾遺和歌集／菅原道真

➤ 菅原道真の怨霊伝説

政争に敗れた菅原道真が西国である大宰府（現在の福岡県）へ大宰権帥（だざいのごんのそち）として左遷される際（901年正月）に詠んだ歌です。自宅の庭の梅の花が、自分がいなくても春になれば花を咲かせ、春の東風に乗って遥か西の大宰府までその香りを届けてほしい、という気持ちを詠んだもので、不本意ながら京都を離れる無念さと梅の花の情景が目に見え、切なくも美しい歌ですね。

菅原道真（845年-903年）は平安時代前期の学者・政治家で、宇多天皇の近臣としてその治世、「寛平の治」を支えた忠臣とされます。現在は学問の神様として、北野天満宮を初めとした各地に祀られています。私も大学受験の前には北野天満宮を参拝し、合格祈願をしてもらったのを覚えています。そんな道真ですが、かつては怨霊・祟りとして、人々から恐れられていた時代もありました。

りそな WEEKLY COLUMN

菅原道真という人物

道真は摂関家ではない中級貴族の出自ながら、学問や詩作に優れた才能を発揮し、宇多天皇の信頼を受けて頭角を現しました。醍醐天皇の代には従二位・右大臣にまで昇進しますが、従二位に叙せられたわずか数週間後、ライバルである藤原時平の讒言により失脚。大宰府へ左遷され、2年後にその地で没しました。道真の没後、都では雷、大火、疫病等が相次ぎ、人々は道真の祟りであると噂しました。藤原時平が数年後に39歳の若さで急死したことや、醍醐天皇がいた御所の清涼殿に落雷が直撃し、左遷事件の関係者を含む多数の死傷者を出したことは特にショッキングな出来事として人々の脳裏に刻まれました（醍醐天皇はこの落雷事件の惨状を目の当たりにしたショックにより、数か月後に崩御したそうです）。平将門の乱や藤原純友の乱等が発生し、世情が不安定であったという背景もあり、朝廷は道真の復権を決めて正二位を追贈し、道真は神様として北野天満宮に祀られることとなりました。当時、北野では元々火雷神という雷神が祀られていましたが、上述の落雷事件と結び付けられ、畏怖の対象となったようです。

「北野天神縁起絵巻」に描かれた清涼殿落雷事件



出所:Wikipedia

その後は時代が下るにつれて、徐々に人々の記憶から怨霊・祟りのイメージは薄れていき、道真自身が優れた学者であったことから、徐々に学問の神様として人気を集めるようになっていったようです。私がかつて住んでいた京都府長岡京市にも長岡天満宮という天満宮がありました。このあたりは道真が生前、親交のあった在原業平としばしば遊んで詩歌管弦を楽しんでいた縁深い地のようにして、長男が生まれた際にはお宮参りをさせていただきました。今年、長男は無事に年長組にまで成長しましたが、健やかに育ってくれているのも道真のご加護のお蔭かもしれません。

ちなみに道真は戦前、紙幣の肖像画に描かれていたこともあるので、金融市場との関わりもゼロではありません。また、道真は丑年生まれであることや、道真と丑の間に様々なエピソードが伝えられていることから、天満宮には臥丑（伏せた丑）が祀られていることが多いです。マーケットでは相場が値上がりすることや強気な見方をブル（牛、牛は攻撃するとき、角を突き上げることから）、逆に値下がりすることや弱気な見方をベア（熊、熊は攻撃するとき、爪を振り下ろすことから）と言います。今年は丑年でもありますし、金融市場に災厄が起こらず、みなさまのポートフォリオが健やかに成長するよう、お近くの天満宮に御祈願なさってもよいかもしれません。



日本三大怨霊から学問の神様へ

長岡天満宮の臥丑



出所:長岡天満宮HP

りそな WEEKLY COLUMN

➤ その他の三大怨霊

さて、冒頭のクイズにもある通り、道真以外にもかつての都で恐れられ、怨霊と呼ばれた人物に、崇徳上皇と平将門がいます。おそらく他にもいたのでしょうか、この三人が日本三大怨霊と呼ばれ、特に畏怖されていたようです。崇徳上皇は皇位継承問題や摂関家の内紛から朝廷が後白河天皇方と崇徳上皇方に分かれて争った保元の乱に敗れて讃岐（現在の香川県）に配流（いわゆる島流し）され、罪人として同地で没しました。崇徳上皇の没後、都では大火や天変地異が続き、人々は崇徳上皇の祟りだと恐れられました。ちなみにこの戦いで頭角を現したのが平清盛や、源義朝（頼朝の父）です。

➤ 平将門と東京株式市場のかかわり

兜神社



出所: Wikipedia

平将門は関東の豪族で、京都の朝廷（当時は朱雀天皇）に対抗して新皇を自称し、東国の独立を目指したものの、藤原秀郷（俵藤太）らに討伐され、額に矢を受けて討ち死にしたそうです。将門の首は京都に送られて晒し首とされますが、何か月経っても腐食せず、目を見開いて再戦を叫び続け、最後は関東の方向を目指して飛び去っていったといわれています。将門の首塚は東京都千代田区大手町のビル群の一角に今も現存しております。

ちなみに我々が日々お世話になっている東京証券取引所があるのは東京都中央区の日本町兜町というところです。この「兜町」の地名の由来は、上述の藤原秀郷が平将門を討伐した際、その兜埋めて塚を作り、それを兜山と呼んだことに由来するという説があるそうです（源義家が東征の際に兜を埋めたという説もあります）。それを祀ったものが同地にある兜神社です。相場にどうも嫌われているなと感じたときは、将門の首塚と合わせてこちらも参拝してみるとよいかもかもしれません。

【解決編】

菅原道真が失脚した政変は「昌泰の変」、平将門が起こした内乱は「承平・天慶の乱（藤原純友の乱と合わせた総称）」、崇徳上皇が敗れて讃岐に流されたのは「保元の乱」です。順番は、昌泰の変は登場人物に武士がまだほとんど登場しない時代ですので平将門の乱より前、保元の乱で台頭したのは平清盛ですが、平氏は清盛の次代、壇ノ浦の戦いで滅亡しておりますので、平将門の乱より後、となります。

ちなみにこの壇ノ浦の戦いをはじめとした一連の戦いが「治承・寿永の乱」（交戦勢力は源氏と平氏だけではなく、もっと複雑であったことから、現在は『源平合戦』とは言わないそうです）、保元の乱の後に発生した政変が「平治の乱」、兜町の話で出てきた源義家（八幡太郎義家）が向かった東征というのが「前九年の役」と「後三年の役」、「文禄・慶長の役」は豊臣秀吉による朝鮮出兵です。

このあたりは日本史好きの私にもかなりややこしく、なかなか覚えられませんので（覚える必要があるかはわかりませんが）、備忘として列記してみました。他にもややこしいものがあれば是非教えてください！

以上

➤ 解決編



参考文献：
北野天満宮HP、長岡天満宮HPの他、今回ご紹介したそれぞれの項目については、執筆時点のWikipediaの記述を参考にしております。

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていないととにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。